

## オリコンサル ICTで道路効率管理 新システム開発 埼玉・上里で実証実験

オリエンタルコンサル  
タンスは、情報通信技術

(ICT)を活用した道路の維持管理システムを開発した。点検や維持管理を簡素化でき、経費削減にも貢献する。8月末から埼玉県上里町で実用化に向けた実証実験を行っており、実験結果を基にシステムを改良。全国の県や自治体などに提案していく。

新システムは、▽道路の点検結果をスマートフォンやタブレットに直接入力する「巡回点検支援システム」▽道路点検の

記録や帳票やデータを一括管理する「定期点検支援システム」▽点検で異常を確認した時にスマートフォンやタブレットを使い担当者とその場で対応策を協議できる「遠隔診断システム」▽カメラ画像から減速や回避行動など車の異常行動を検知して管理者に通報する「異常検知システム」を組み合わせて使用する。

実証実験を進めている上里町の担当者によると、技術者からは「前よりも点検がしやすくなった」との声が挙がっているという。

高度成長期に集中的に整備された道路などのインフラの老朽化が全国で進んでいるが、財政事情が厳しい自治体では、維持管理に十分な予算を確保するのが難しく、専門知識を持つ技術者が不足しているのも実情。オリコンサルは、昨年、山梨県の中央自動車道笹子トンネルで起きた天井板崩落事故などを踏まえ、ICTを活用して道路の維持管理を効率的に進められるシステムを開発した。